

枚方市立図書館四十年誌

～平成元年以降の取組み～



平成 28 年 3 月

枚方市立図書館

表紙写真

上段左 健康・医療・福祉フェスティバルに出動した自動車文庫

上段中 カウンターの小さなお客様(御殿山図書館)

上段右 保育園児を迎えておはなし会 (釈尊寺分室)

中段左 配架作業 (中央図書館2階開架室)

中段中 中央図書館正面外観

中段右 リフトを使った本の運搬作業(中央図書館バックヤード)

下段左 手話で楽しむおはなし会 (中央図書館おはなしコーナー)

下段右 大勢参加のあった分室職員による手作り工作 (中央図書館玄関ホール)

発刊に寄せて

子どもたちにたくさんの本を読ませてあげたい。保護者のその切実な願いが、昭和48(1973)年に枚方市立図書館を発足させました。

発足当初は、市民会館3階にあった図書館本館と、あいついで設置した分室、さらには自動車文庫ひなぎく号が中心となって、それぞれの地域で図書館サービスの普及に努めてきました。

その後、昭和57(2005)年から平成2(1990)年にかけて、地域のサービス拠点となる図書館分館を市内7箇所に設置し、市民が日常生活の中で、気軽に図書館サービスを利用できる環境整備を行ってきました。

施設整備が一段落した後は、障害者サービスの拡充や市民病院小児病棟での定期的な子ども向け行事など、図書館サービスの充実を図ってきました。

そして平成17(2005)年。念願の中央図書館をオープンし、現在は中央図書館を司令塔として、7分館、11分室、自動車文庫1台が互いに連携しながら、全館一体となったサービス展開を行っています。その結果、年間約366万冊(平成26年度)もの図書館資料を貸出するほか、本に関わる多様なイベントを開催するなど、乳幼児から高齢者まで、広く市民に親しまれているところです。

社会状況が急激に変化している中で、今後市立図書館は、図書館内でのサービスにとどまらず、市立図書館が有する専門的な知識・技術を活かして、学校図書館支援をはじめとする教育・生涯学習関連事業の支援を行うなど、効果的・効率的な運営を心がけながら、市民の「役に立つ図書館」を目指すことが期待されています。

気がつけば市立図書館の発足から40年。このたび、市立図書館のあゆみを『枚方市立図書館四十年誌』としてまとめることが出来ました。

「子どもに本を届けたい」という市立図書館がずっと大切にしてきた思いを継承しつつ、現代の社会状況の中で図書館が求められている役割も踏まえながら、市立図書館は、市民の皆さんに喜ばれる、居心地のいい空間と質の高いサービスをこれからも提供してまいります。今後の市立図書館のサービス展開に、どうかご期待ください。

平成28年3月

枚方市教育委員会教育長

枚方市立図書館四十年誌目次

	頁
発刊に寄せて（教育委員会教育長）	1
はじめに 凡例	3
1 基礎的な活動の展開 方針、内規、マニュアルの制定や変更	4
2 特徴的な活動	8
3 コンピュータシステムの導入	13
4 中央図書館	19
5 児童・ヤングアダルトへのサービスの変遷	26
6 障害者サービスの変遷	33
7 分室サービスの変遷	39
8 相互貸借・レファレンスについて	41
9 市史資料室と枚方地域コレクション	43
10 社会的に問題があるとされた資料についての全館的な検討	46
11 年表	49
12 図書館・分室概要	55
13 統計	76
14 記事索引：枚方市の図書館について 1989～2014 ～抄～	87

はじめに

本市の図書館では、昭和 26(1951)年の大阪府立図書館枚方ブックステーション開設から、昭和 48(1973)年の枚方市立図書館発足を経て、平成元(1989)年に至るまでの十五年間の歴史を、平成 2(1990)年 3 月発行の『枚方市立図書館十五年誌』にまとめました。

その後、昭和 63(1988)年からは『図書館年報』を毎年発行するようになったこともあり、十五年誌以降の記録をまとめることのないまま、平成 25(2013)年に市立図書館発足 40 年目を、平成 27(2015)年には中央図書館開館 10 年目を迎えました。そこで、この中央図書館開館 10 周年という節目を機に、年報に記述しきれない記録や記憶を遺し、この間の活動を市民の皆様幅広く知っていただこうと、十五年誌以降の 25 年間に中心を振り返ってみました。

平成 27(2015)年には指定管理者制度導入の手続きが始まり、次年度からは蹉跎図書館と牧野図書館において指定管理者による運営がスタートいたします。一方、平成 26(2014)年度の 3 中学校支援から始まった学校図書館との連携も含めて、中央図書館を中心としたより良いシステムを構築するよう動き出しています。

ここに、これまでの活動をまとめることで、これから展開していくサービスの礎とし、本市の図書館をいっそう発展させていきたいと思えます。

枚方市立中央図書館

凡例

1. 記載方法

本誌は、平成元年から平成 27(2015)年 12 月までの枚方市立図書館について記述したものであるが、文中の数値については『事務概要』(枚方市)と『図書館年報 2015』(平成 26(2014)年統計)を使用している。

2. 写真

多くは枚方市立図書館が毎月発行、配布している『図書館だより』(新着図書案内)表紙、図書館のホームページの行事報告からの転用である。撮影当時と、現在の状況が変わっている場合も多くある。

3. 年表

枚方市立図書館発足から昭和 63(1988)年までは、平成元(1989)年発行『枚方市立図書館十五年誌』に詳しく掲載があるため、それ以降平成 26(2014)年度末までを作成した。作成にあたり、細かく確認作業を行い、過去の年報中の誤り等を訂正して記載している。

4. 統計

年表同様に、平成元(1989)年から平成 26(2014)年度までを『図書館年報』の統計項目でまとめた。数値は『事務概要』(枚方市)を使用している